

会派の主張

本会議の
質問など

三面から六面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

公明党

代表質問 松尾 武
個人質問 松川 啓子

個人質問 西田 和彦

**スポーツや交通網など本市の特色を生かしたまちづくりの推進を！
児童虐待対策など子どもを守る施策の充実を急げ！**

―新ウィルチエア―

スポーツ広場について―

問 現在、ウィルチエア―スポーツを推進し、聖地として相応しい拠点整備が急がれる。今回、新ウィルチエア―スポーツ広場の設計委託料が新年度予算に計上され、花園ラグビー場東側

への移転を目指しておられるが、これまでの課題解消だけではなくどう取り組むのか答えよ。

市長 トイレや水道の整備などの課題解消に加え、全国初の先進的な整備を行い、全国の模範となる施設を目指して取り組んでいく。

―ラグビーWC開催時の活性化について―

問 本年のラグビーワールドカップ花園開催時の市域全体の活性化に向け、商標や商業活動の制限がある中で、観戦客が市内を周遊する仕組みをプロモーションし、東大阪ツリースム振興機構が推進する、市内各所での体感まち博などにつなぐことが重要であると考えられるか。

経営企画部長 本市の魅力をつらやみ盛り込んだ東大阪体感まち博2019を開催し、地域の活性化につなげていく。

―市役所本庁周辺の整備について―

問 新都心整備計画で土地利用の方向性が決められている中、大阪府所有の本庁東側のイオンの借地契約期限が平成三十四年と迫っている。府に対する本市の活用方法の要望を今年度中にまとめられるが、周辺住民の皆様は、生活に欠かせない商業施設がなくなるのではと強い懸念を抱かれています。今後、大阪モノレールの南伸とともに、交通網を生かした本庁周辺の整備を進めるべきと考えます。本庁周辺整備について、大阪府に対して本市の方針はどのようなに示すのか。

都市整備部長 現在、誘致する機能、施設について取りまとめ中ではあるが、これらを踏まえた案となるよう鋭意検討を進め、大阪府に示していく。

―手話に親しむ機会の取り組みについて―

問 これまで、わが党が本会議で手話言語条例について質問し、今回本条例が制定されることを歓迎する。あらゆる機会を通し赤ちゃんから全ての世代にわたって手話に親しむ機会を提供すべきと考えられるか。

福祉部長 手話教室の開催、各種イベントなどでの手話のミニ教室の開催や啓発、ハンドブックの作成、手話サロンの開催などに取り組んでいく。

―児童虐待防止の支援拠点について―

問 四月より子育て世代包括支援センター事業が本格的に開始すると共に、子ども家庭総合支援拠点の設置は要保護児童の支援や家庭への支援など、虐待リスクの高い事案に対し急がなければならない。設置場所やキャンペーンの問題も重要であるが、中枢中核都市として、絶対に虐待を起さないとの決意をもって子どもの命を守り育む施策を市の中心施策とすることが重要であると考えますが市長の見解を伺う。

市長 私自身も原点に立ち返り、本市から虐待をなくす、そのような強い思いを持って臨んでいく。

―モノレールと鴻池新田の遊歩道について―

問 モノレール南伸に伴い、(仮称)鴻池新田駅が新設される事が予定されている。しかし、JR鴻池新田との乗り継ぎを考えた場合、歩道は狭隘で傾斜や段差が多く、特に車いすの通行は困難である。近隣住民の皆様は、雨に濡れないような歩道整備を望まれている。鴻池新田駅間の安全で快適な歩道及び乗り継ぎ経路の整備についての見解を伺う。

都市整備部長 両駅の利用と乗り継ぎへの心理的な抵抗を軽減するための方策について検討している。

―設置について―

問 これまで、わが会派は設置に向けた取り組みを行ってきた。昨年の本会議では、連絡通路そのものが老朽化していることから、架け替えを実施しなければならぬと考えられている、との答弁であった。しかし、架け替えは費用面だけでなく、JRとの協議に時間を要し、エレベーター設置がさらに遅れる。現状の形態を残しながら耐震化や化粧直しをすれば、工期短縮や低コストになると考えるがどうか。

土木部長 施工性や経済性を考慮し、連絡通路を補修し、長寿命化を図る。

路の整備についての見解を伺う。

個人質問 大坪 和弥



車いすソフトボールを楽しむ様子

大阪維新の会

代表質問 岸本 光生
個人質問 高橋 正子

個人質問 大坪 和弥

**市債残高が過去最高を更新！次世代にツケを残すな！
子に過ぎたる宝なし！児童虐待に迅速な対応を！**

―財政運営状況について―

問 平成三十一年度当初予算案では、市債残高は年度

末見込みで千九百六十三億円となっており過去最高を更新している。また、財政

調整基金繰入金も四十億二千八百万円となり、昨年十

(次頁へつづく)